



花暦コラム 花暦コラム



Vol.2

松尾真由美

4月14日の定例会で、森山さんが鎌先温泉付近で取ったイタヤカエデの枝が、テーブルの上に飾ってありました。枝先には、黄緑色の花が。カエデ科の花は目立たないので、森の中を歩いていてもなかなか出逢えません。

『イタヤカエデ』と言えば、メープルシロップが取れる木。
(世界では、カナダのサトウカエデが有名ですネ)

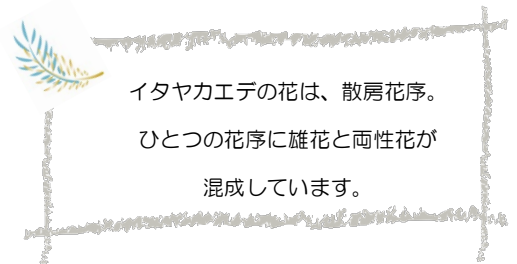


幼稚園の頃、大好きな絵本の1つ『カトリーナカナダへいく』という絵本にでてくるメープルシロップってどんな味かな…と、思っていました。3年前の3月始め、会の樹液採取に参加して、それを初めて口にできた事を思い出します。

(その時は、アカイタヤカエデとウリハダカエデから採取しました。)

透明のシロップは、ほんのり甘くやさしい味。
森の教室では、こんな楽しい経験もできるんですね。

5月に咲いていた花



- *ミツバアケビ (アケビ科) *ユリワサビ (ユリ科) *コンロンソウ (アブラナ科) *ウスバサイシン (ウマノスズクサ科)
- *イタヤカエデ (カエデ科) *コハウチワカエデ (カエデ科) *オオバヤシャブシ (カバノキ科) *アキグミ (グミ科)
- *マルバダケブキ (キク科) *ニワトコ (スイカズラ科) *タニウツギ (スイカズラ科) *オオタチツボスミレ (スミレ科)
- *タチツボスミレ (スミレ科) *フッキソウ (ツゲ科) *トウダイグサ (トウダイグサ科) *ツリバナ (ニシキギ科)
- *クマイチゴ (バラ科) *ウワミズザクラ (バラ科) *エドヒガン (バラ科) *ヤエザクラ (バラ科) *ズミ (バラ科)
- *サルナシ (マタタビ科) *ルイヨウボタン (メギ科) *マルバアオダモ (モクセイ科) *コブシ (モクレン科)
- *タムシバ (モクレン科) *キツネヤナギ (ヤナギ科) *バッコヤナギ (ヤナギ科) *シオデ (ユリ科)
- *ユキザサ (ユリ科) *ユウシュンラン (ラン科)



シオデ



コンロンソウ



ルイヨウボタン



サルナシ



ユウシュンラン

4月14日の定例会で、会員の今部さんが私に話しかけてくれました。
『仙台では、ヒメオドリコソウをよく道端で見かけるけど、
以前住んでいた静岡ではあまり見かけないんですよ。
かわりに、ホトケノザが道端、あぜ道なんかに自生していました。
やっぱり、その土地によって違うんですね。』



ヒメオドリコソウ (シソ科)

『ホトケノザ』と言えば…『春の七草』。 ちょっと時期的に遅いですが
今回は、番外編でご紹介。 皆さん、ご存じだとはおもいますが…。

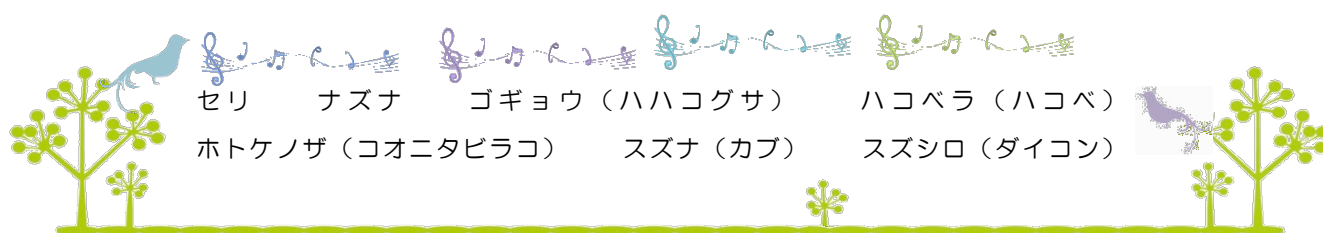
今日『ホトケノザ』と呼ばれているのは、実は、『春の七草』の
『ホトケノザ』(コオニタビラコ:キク科)ではなく、シソ科オドリコソウ属の
野草の事で、食卓にあがることはないそうです。

家族や友人に『これが春の七草の中の〇〇だよお〜』なんて、
教えてあげられるといいですね。



ホトケノザ (仏の座) (シソ科)

※ 春の七草ではありません ※



ナスナ (ベンベンぐさ) アブラナ科



ハハコグサ (母子草) アブラナ科



コオニタビラコ (小鬼田平子) キク科

※ 春の七草のホトケノザはこちら ※

私への『こんな花が咲いていたヨ!』などのメッセージや、ナショナルトラスト地で
花の写真を撮った方は、こちらまでお知らせ下さい。



スマートフォン・・・nt. b. potter. m@docomo. ne. jp



PC・・・mayumi. m@iris. ocn. ne. jp